

# ステーキのあさくま

# 郊外型コーヒー店展開



フルサービスでくつろげる店舗にしている

ステーキチェーンのあさくま(名古屋市中)は郊外型コーヒー店を展開する。このほど子会社を通じて首都圏の4店を買収。2年後をめどに15店程度に直営店を増やす。ゆったりくつろげる郊外型コーヒー店はシニアや家族客に人気で、ステーキ店とは異なる顧客層を取り込む。同社は来春に株式公開を予定しており、M&A(合併・買収)の加速で業態を広げ収益源を多様化する。

## 関東の4店買収 シニア・家族に的

投資会社のOGIホールディングス(東京・港)傘下の日本レストランビジネス(同)からフルサービス型のコーヒーチェーン「オランダ坂珈琲」4店を買収した。買収額は非公表。オランダ坂珈琲は東京都東大和市。珈琲店は東京都東大和市

や、埼玉県所沢市など首都圏の郊外を中心に4店展開するフルサービス型のカフェチェーンだ。4店とも直近3年以内に出店した。

名古屋発の喫茶店として人気を集めるコマタ珈琲店のサービスや内装を

意識し、ゆっくりと食事や喫茶を楽しむ店舗にしている。月商は650〜700万円、いずれも黒字経営だという。

メニューは、コーヒーやサンドイッチといった軽食メニューのほか、スナックやホットケーキ、オムライスなど食事メニューを充実させ、近年間で、首都圏に1〜2店の家族客や年配客が主

要顧客となっている。営業は午前7時から午後10時までで、客単価は約780円。

あさくまは今後オランダ坂珈琲の平均月商を現在の約5割増にする。まず半年間、既存店の人材教育やメニューの改良などを進める。その後半年間で、首都圏に1〜2店の直営店を出す計画。

2年目は7店程度を出店し、「将来は100店を目指す」(あさくまの森下篤史社長)。

同社は日本レストランビジネスから和食ビュッフェ店「まいにちごはん」2店も買収しており、コーヒー店4店を合わせた売上高は、2014年3月期で約4億4千万円だという。

あさくまはステーキ店のほかに、もつ焼き店などを展開。今秋にイタリヤ料理店を買収するなど積極的な事業拡大を続けている。多様な業態の中、小規模の外食店を買収し、自社で成長させていく戦略をとる。15年3月期の連結売上高は約50億円、16年3月期は約70億円を見込んでいる。

日経  
**MJ**

12月10日(水曜日)  
月/水/金 発行